

刈谷に行ってきました 資源回収 立ち番の甲斐ない碧南市



高い処理費用もごみ量も多い碧南市

H28年度実績	碧南市	刈谷市
人口 (人)	72,228	150,907
総ごみ処理費用 (円)	325,643,598	422,986,519
1人当たり処理費 (円)	4,508	2,803
現業市職員	再任用1人	正規14再任用1人
家庭用可燃ごみ (kg)	15,447,626	27,876,440
1人当たり (kg)	214	185
資源となるごみ	1,598,323	9,731,494
1人当たり (kg)	22	5
地区資源回収	504,015	3,321,386
実施団体	44団体	128団体
交付金総額 (円)	3,692,216	22,078,257
スーパー店頭回収	8カ所	13カ所

に業者が回収して、買物ついでに廃棄。数多く設置、所、店舗に気屋、集会、蛍光灯、ラ、乾電池、助金を得て、円の売却補、年100万、と、多い、せて、多、年100万、円の売却補、助金を得て、います。蛍光灯、ラ、乾電池、気屋、集会、所、店舗に、数多く設置、買物ついでに廃棄。業者が回収して、

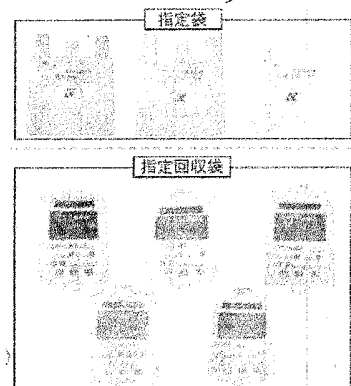
碧南市の高い処理運搬費

刈谷市は、立ち番なし、パッカー車に
碧南市は、立ち番なし、パッカー車に
刈谷市は、立ち番なし、パッカー車に
刈谷市は、立ち番なし、パッカー車に

資源ごみは発生源回収が基本
日本共産党山口、岡本、磯貝市議は、市民2人と共に、1月18日刈谷市に視察し、家庭用ごみの処理方法を学んできました。
碧南市は、平成7年から22年間、資源ごみ分別収集を、全市民の立ち番で進めてきました。刈谷市では、可燃3種も資源5種に分けてすべて路線方式（碧南市の可燃ごみ収集のようにパッカー車で回収）しています。立ち番はありません。またスーパー店頭13カ所です。最大7種類の資源回収場所を設置し毎日出せます。刈谷市はホームページに掲載し、店頭回収を奨励しています。碧南市は、推進していません。資源回収は「リターナブル」（販売業者の責任でリサイクル）が基本です。

新聞などは地域の収入に

刈谷市は、20自治会が、公共施設、スーパー、集会所に常設の新聞・段ボール・ぼろ・缶などの集積所27カ所持っています。毎日出
刈谷市は、20自治会が、公共施設、スーパー、集会所に常設の新聞・段ボール・ぼろ・缶などの集積所27カ所持っています。毎日出
刈谷市は、20自治会が、公共施設、スーパー、集会所に常設の新聞・段ボール・ぼろ・缶などの集積所27カ所持っています。毎日出



ついに
小中学校「部活の朝練」中止!!
碧南市教育委員会は、1月23日付けで保護者に向け「市内小中学校における始業前の加害活動（朝の部活動練習）の見直しについて」の通知を行いました。生田教育長が、18日の教育委員会で報告しました。「部活動を過度に行うことによって生じるスポーツ障害や活動意欲の減退を防ぐためには、児童生徒がバランスのとれた生活を送り、適切な睡眠や休養をとる必要がある」とし、平成30年度から、すべての小中学校で原則おこなわない」としました。日本共産党は一般質問で朝練中止を求めてきました。大きな前進です。

見直し、立ち番廃止を
「高齢になり立ち番が負担」「私は心臓疾患で障がい者、夫は寝たきり。立ち番できない」「小規模町内会で年2回の立ち番。町内会入るの嫌だの声も」「大規模町内会で遠くまで立ち番、資源だしが負担」の声が広がっています。中山、道場山など立ち番をなくした町内会もあります。
1月29日の経済建設部会で、今後13年間の一般廃棄物処理基本計画の見直しが議論されます。日本共産党は磯貝明彦議員が刈谷市での視察を活かし、店頭回収の促進、立ち番をやめて路線化収集の実施を求めます。パブリックコメントは、2月1日～2月28日に行われます。ぜひ市民の声をあげましょう。

碧南市のように、すべて税金で処理するやり方ではないのでしょうか。
より燃やせるゴミは週2回、包装用プラと紙包装は週1回。ペット、ビン、かんなどは2週に1回収しています。現業市職員が15名いるものの、運搬処理費用は年間市民1人2803円。碧南市の4508円の62%の安さです。
市民の立ち番で、コスト削減やリサイクルが進むものと期待していましたが「甲斐なし」となっているのが碧南市の現状です。

西尾市議会の議員研修会

機貝明彦

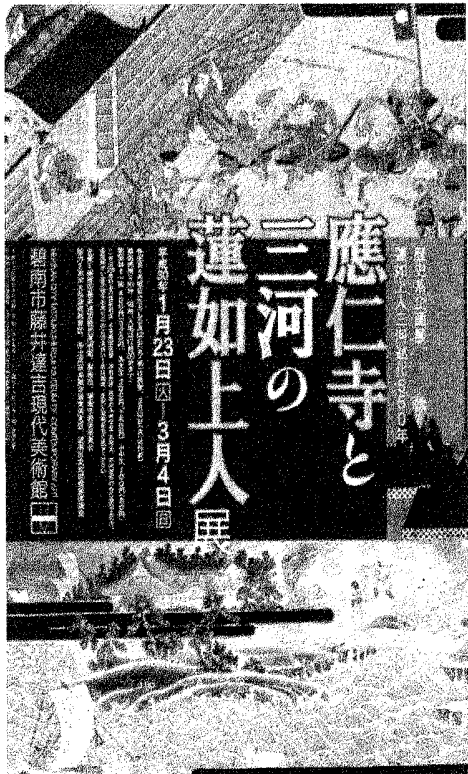
1月16日、西尾市議会議員研修会を傍聴させていだきました。研修会のテーマは「人口減少時代における議員力とは」として、京都の福知山大学の富野暉一郎副学長が講演しました。

良い人口減少へ

富野氏は講演の前段として、地方都市の人口減少には悪い人口減少、いわゆる「急速な人口減少」と、良い人口現象、いわゆる「安定した人口減少」があるのではないかと。平成の大合併をした自治体では広域化した結果、学校の統廃合や交通機関の整理などの社会インフラの弱体化が都市周辺の人口流出を加速化し、「新しい過疎問題」が起きていると批判。地域社会における構造変化は、社会的課題を、地域社会全体に投げかけていると警鐘しました。

富野氏は、地方議会は二元代表制であり、首長は自らを選出した住民に直接的に責任を負い、議員が集まった議会が住民の代表機関といたしました。人口減少時代に求められる議員力とは「良い人口減少」となるよう、持続可能な地域社会の構築をしていくこと。市民からの「要求・要望」の声を「政策の耳」で聞き、それを地域に根付いた仕組みや制度として提案する「政策作り」の必要性を強調しました。

今後、いっそう市民要求を市政のしくみ、制度改正をめざして努力しなければと思います。



碧南市藤井達吉現代美術館

應仁寺と三河の蓮如上人展

に行ってきたました

高浜市生まれ、高浜育ちの私にとって「れんによさん」は、子どものころ蓮華の花さく野への道をサーカスみたさに、碧南まで歩いた思い出の場所。嫁いだ今となっては、戦没者追悼や、春のおまつりと、地元中の地元の寺となりました。

以前、前進座の「蓮如」を観劇した時の、思い出とも重なります。

今回の展示は、宗教とのこともありとてもむずかしくすぐには理解は困難でした。しかし、福井、滋賀県、東京、茨木、京都、大阪・・・と蓮如と應仁寺にまつわる品々が収集されたこと。地元寺院総出ともいえる宝物の数々を一度に目にする機会は、そうありません。

郷土を深く知る

日本共産党は、郷土資料館のなかった碧南市に「郷土の偉人などを子どもたちに伝えるべき」と資料館を求めてきました。以前開催された洋々医官の近藤担平とも合わせ郷土の歴史と偉人について深く知ることができ感慨ひとしおです。

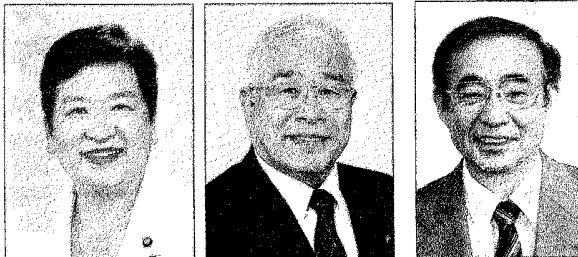
27人の子ども、女性成仏の心

五木寛之と梅原猛の対話を綴った『仏の発見』には蓮如の子どもの数は、13男14女。合わせて27人、最後の子は84歳の時と言われています。次々先立たれ5人の妻が、ありました。浮気とか不倫は皆無。そして仏教史的には、女性は過去、罪業深重の汚れた存在とされていましたが、親鸞は「和讃」の中で「女人成仏」をうたい温かい眼差しを向けました。ところが蓮如は、それ以上に、女性優位とも思われるほど「女人成仏」の思いを貫いています。市議選の街頭演説で「女性を大切にすること、平等の思いの蓮如さん」と語ったことがあります。今回の展示には、個人的な姿はなかったですが「れんによのふるさとの女性議員」として改めて、親しみを深めました。ぜひ貴重な機会を逃さないようお出かけを(山口 記)

広げよう
安倍9条改憲NO!
3000万署名

19日行動
2月19日(月)
午前11時~12時
スーパーヤマナカ前

日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 機貝明彦
☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

お気軽にご意見ご要望を

弁護士による無料法律相談
◆毎週土曜日午前10時~12時
◆日本共産党知立市事務所
◆隔週火曜日午後6時~
日本共産党西三河地区委員会事務局
申し込みは碧南市議団へ



参議院議員
井上さとし



参議院選挙区予定候補
すやま初美

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

日本と世界の毎日がわかる
日刊赤旗
をお読みください

消費税10%
キッパリ中止